

文書館ふくい

NO.82 福井県文書館

平成29年2月発行

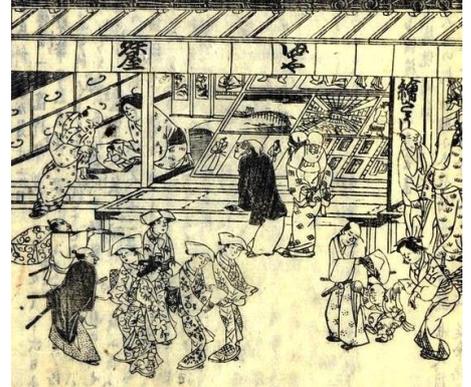
〒918-8113 福井市下馬町 51-11 電話 0776-33-8890 URL <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

■心躍るガイドブック『東海道名所図会』■

東海道についての全6巻の名所案内書です。文章は、京都在住の俳諧師の秋里籬島、挿絵は竹原春泉齋ら総勢30名の絵師が手がけました。1797年(寛政9)に出版されたもので、内容は、京都から江戸日本橋にいたる名所の説明、歴史、伝説など、多岐にわたります。また、挿絵も豊富で、中には数ページにわたる大作もあります。

現在、文書館月替展示「青春17 春嶽の旅日記 - 『東海紀行』でたどる参勤交代 -」で展示されています。

吉川充雄家文書(当館蔵)C0037-00551~00556



■講座案内■

◎『平家物語』の異本を読む 第6回 断絶平家と灌頂巻

日時：3月4日(土) 13:30~15:00

講師：カレル・フィアラ

(文書館副館長)

福井県立大学名誉教授)

会場：文書館研修室

定員：40名(要申込)



*『平家物語 下』佐藤謙三 校注(角川ソフィア文庫・ISBN978-4-04-400702)を用意して、受講してください。

*事前の申込みが必要です。

◎文書館専門講座

アーカイブス

「ふくいの歴史資料を読み解く」第2回

「福井県下の連合軍捕虜

-Web資料が語る残影-

日時：3月26日(日)

13:30~15:00

講師：木村 亮 氏

(福井大学教授)

会場：県立図書館多目的ホール

定員：70名 参加無料

*事前の申込みが必要です。



太平洋戦争末期、連合軍捕虜の収容所分所が六呂師、敦賀、武生において開設されていました。捕虜となった経緯、福井県内までの移送と捕虜生活、終戦後の解放について、Webで公開されている資料も閲覧し、多面的に迫ります。

■ちょっと昔の2月風景■



▲節分豆まき(さくらんぼ保育園) 昭和56年 70656



▲福井商業高校 昭和49年 67125

■ご利用案内■

開館時間 午前9時から午後5時まで

■フレンドリーバスをご利用ください■

*いずれもライフ・アカデミー連携講座です。
*電話・FAX・メールにてお申し込みください。
電話 (0776) 33-8890 FAX (0776) 33-8891
E-mail bunshokan@pref.fukui.lg.jp



■2月の開館日カレンダー■

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

は休館日です

■今月の展示■

天保15年(1844)、若き福井藩主 松平春嶽(慶永、当時17歳)は、参勤交代で福井へ向かうために江戸を発ちました。東海道経由で、約2週間の旅の始まりです。

春嶽は、この旅で見たこと、聞いたこと、感じたことを紀行文にまとめています。船歌を聞きながら川を渡った平穏な日もあれば、嫌いな雷に見舞われた不安な日もあり、山あり谷ありの2週間だったようです。

展示では、春嶽の紀行文「東海紀行」をもとに、道中のようすやできごと、しきたりなどを紹介しながら、若き春嶽が歩んだ江戸から福井までの旅をたどります。

展示期間は、12月23日(金)から2月22日(水)までです。

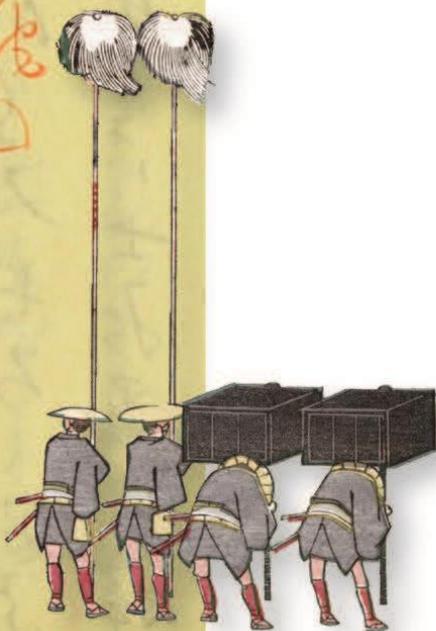
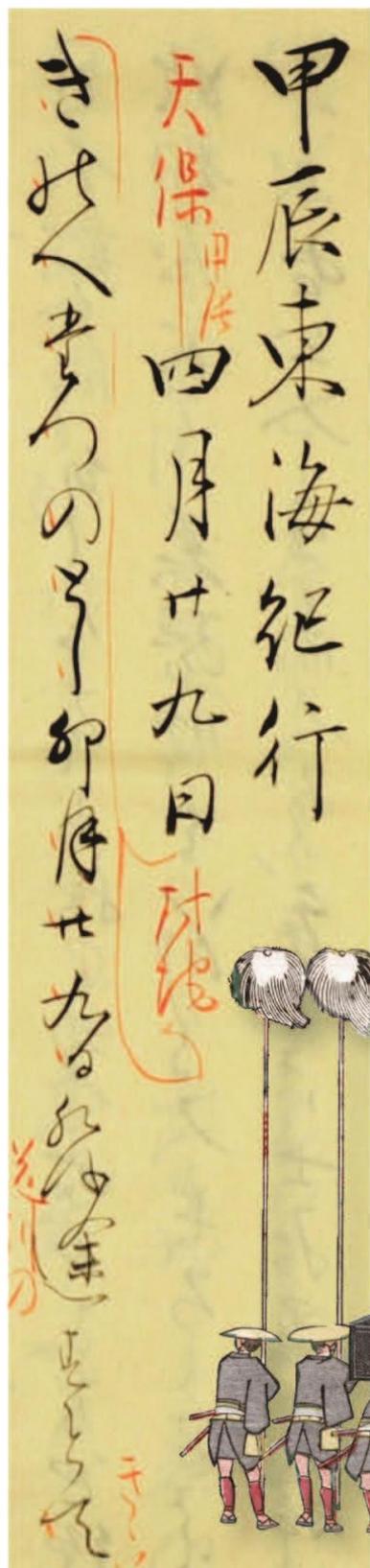
余の青春時代の日記をとくと御覧あれ!!



福井県文書館月替展示

春嶽の旅日記

—「東海紀行」でたどる参勤交代—



平成28年12月23日|金|
▼
平成29年 2月22日|水|

福井県文書館閲覧室

開館時間 9:00 ~ 17:00 入館無料

A0143-20273 「東海紀行」福井県立図書館保管 松平文庫
B0037-00661 「東海道五十三次」当館蔵 勝見宗左衛門家文書